

■新井日薩 宗教家。維新を乗り越え、今日の日蓮宗の基礎をつくった。

あらいにっさつ

富籤流行・・・1830＝ 上野国山田郡桐生町(群馬県桐生市)で、機織屋新居宗左衛門の六男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 7歳：

適塾ホヰン・ 1838＝ 8歳： 武蔵国秩父郡御堂村(埼玉県秩父郡東秩父村)日蓮宗浄蓮寺大車院日軌の弟子となり、  
蛮社の獄・・・1839＝ 9歳： 得度し日薩と改めた。

阿部正弘首座1845＝15歳：

・・・・・・ 1848＝18歳： 加賀国金沢立像寺充治学園に入り、優陀那院日輝に従学。

日輝は学者としてきこえたが、また信仰家で、今日の日蓮宗教学、法要儀式の軌範に影響をあたえた。充治学園からは近代日蓮宗の人材を多く輩出した。

ペリー来航・ 1853＝23歳：

7年間日輝についた後、

安政大地震・ 1855＝25歳： 江戸に出て、駒込蓮久寺に住した。

松下村塾・・・1856＝26歳： 親友野口之布とともに藤森弘庵の塾に通った。

蕃書調所・・・1857＝27歳：

桜田門外変・ 1860＝30歳：

薩長同盟・・・1866＝36歳：

明治維新・・・1868＝38歳： \*明治維新に際し、池上本門寺境内の南谷檀林で仏典の講義に力をそそぎ、師日輝の著書の公刊にあたる。

戊辰戦争終・・・1869＝39歳： \*養？徹底ら仏教界の代表的人物と諸宗道德会盟を結び、廃仏段釈の嵐が吹き荒れる中、復興に努力。

明治6年政変 1873＝43歳：

佐賀の乱・・・1874＝44歳： \*身延久遠寺住職となり、日蓮宗一致派管長として、日蓮宗の宗名の確立、宗門の教育行政の統一に努力。

初の民間工場1875＝45歳： 福田行誠らとともに「諸寺院連名建白書」を太政官に提出。

三つの内乱・ 1876＝46歳： \*管長職を退き、

沖縄県編入・ 1879＝49歳： 福田会育児院を創設、会長となる。

明治14年政変1881＝51歳：

秩父事件・・・1884＝54歳：

初の対等条約1888＝58歳： 池上にて、 没した。